



西海市

No.
57

2020年2月5日
発行

議会 だより



西彼町伊ノ浦郷から望む
令和の日の出

(新西海橋と西海橋)

撮影:千草米一氏(西彼町)

おもな内容

令和元年第4回議会定例会	P2~P3
常任委員会審査報告	P4~P5
一般質問	 P6~P11
常任委員会調査報告	 P12
市民と議会のつどい	 P13
NBCデータ放送の紹介	 P14
市民の声	 P15
議会クイズ、編集後記	 P16

令和元年第4回議会定例会

会期：令和元年 11 月 29 日～ 12 月 13 日（15 日間）

定例会の概要

第4回議会定例会では、議案24件（報告案件1件を含む）、請願1件、発議1件が審議されました。

これらの議案等のうち、24件の議案については各常任委員会に付託され、審査されました。（各委員会審査の概要は4、5ページに掲載。）

また、請願第6号「平島地区における洋上風力発電計画についての請願」は不採択となりました。

議員発議により「議員定数等調査特別委員会設置に関する決議」が提出され、可決されました。

閉会中の継続調査は、総務文教常任委員会から「再生可能エネルギーについて」、産業建設常任委員会から「農業振興について」、厚生常任委員会から「ごみ処理について」の申出があり、決定されました。



第4回議会定例会賛否一覧表

※意見が分かれた議案等を掲載しています。

議案名	会派	創生会						自民党眞満 の会		保守 無所属の会		国民 民主 西海	志政会			令政会		会派 所属 なし	議決結果	賛成 ： 反対	
	議員名	瀧瀬 栄子	佐嘉田 敏雄	杉山 誠治	浅田 直幸	宮本 一昭	小嶋 俊樹	中尾 清敏	戸浦 善彦	朝長 隆洋	中里 悟	田崎 耕太	清水 正明	平井 満洋	内野 繁樹	田川 正毅	岩本 利雄	永田 良一			平野 直幸
請願第6号 平島地区における洋 上風力発電計画につ いての請願		○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠席	●	●	●	●	●	議長は採決に加わらない	不採択	1：15

賛成：○ 反対：●

討論の要旨

請願第6号 平島地区における洋上風力発電計画についての請願
賛成討論

○瀧瀬 栄子議員

請願事項は、平島地区における洋上風力発電事業の計画経緯と全容、漁場や自然環境、景観への影響について島民全体に丁寧な説明を行う場を設けること、計画に対する島民の不安の声や反対意見に耳を傾け、島民の合意のない計画推進は行わないことである。

担当課からの説明会開催の報告によれば、同計画書の環境配慮書が縦覧によって公表された後、住民への説明会は開かれていないことから、署名が添えられ提出された請願の願意は妥当であり賛成する。

反対討論

○浅田 直幸議員

一般質問の市長答弁によれば、計画は、現時点では説明する段階に経っていないとの判断のもと説明会を開催していないとのこと、今後、必要に応じて島民の方に理解していただくよう説明会が開催されるのことから、今回、請願を採択する必要性を感じないため、不採択の立場で意見する。

「議員定数等調査特別委員会」を設置

議員定数等調査特別委員会の設置決議案が議員6名の連名により提出され、全会一致で設置が可決されました。委員定数は議長を除く17名で設置の期間及び委員の任期は、設置目的に係る調査の終了までです。

この委員会は、地域社会に対応できる多様な人材の市議会への参画促進を図るために議員報酬及び定数の在り方について、必要な事項の調査を行うことを主たる目的とするものです。

「議員定数等調査特別委員会」

委員名簿（定数17名）

委員長	岩本 利雄
副委員長	田崎 耕太
委員	宮本 一昭
委員	佐嘉田敏雄
委員	浅田 直幸
委員	永田 良一
委員	田川 正毅
委員	平井 満洋
委員	中尾 清敏
委員	小嶋 俊樹
委員	朝長 隆洋
委員	戸浦 善彦
委員	中里 悟
委員	内野 繁樹
委員	杉山 誠治
委員	洲瀬 栄子
委員	清水 正明

令和元年第4回議会定例会で審議した案件及び結果

議案番号	件名	付託委員会等	議決の結果
報告第20号	市道蛸浦線物損事故に係る損害賠償の額を定め、和解することについての専決処分の報告について	本会議	報告済み
議案第75号	西海市職員の給与に関する条例及び西海市特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第76号	西海市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第77号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第78号	財産の取得について	総務文教	原案可決
議案第79号	西海市交通船使用条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第80号	西海市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	厚生	原案可決
議案第81号	西海市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	厚生	原案可決
議案第82号	西海市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	厚生	原案可決
議案第83号	西海市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	厚生	原案可決
議案第84号	西海市西彼保健福祉センターの指定管理者の指定について	厚生	原案可決
議案第85号	西海市四本堂公園及び西海市八人ヶ岳公園の指定管理者の指定について	産業建設	原案可決
議案第86号	西海市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設	原案可決
議案第87号	西海市下水道事業の設置等に関する条例の制定について	産業建設	原案可決
議案第88号	令和元年度西海市一般会計補正予算（第4号）	予算決算	原案可決
議案第89号	令和元年度西海市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	厚生	原案可決
議案第90号	令和元年度西海市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	産業建設	原案可決
議案第91号	令和元年度西海市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	産業建設	原案可決
議案第92号	令和元年度西海市交通船特別会計補正予算（第1号）	総務文教	原案可決
議案第93号	令和元年度西海市介護保険特別会計補正予算（第3号）	厚生	原案可決
議案第94号	令和元年度西海市水道事業会計補正予算（第1号）	産業建設	原案可決
議案第95号	令和元年度西海市工業用水道事業会計補正予算（第1号）	産業建設	原案可決
議案第96号	西海市浄化槽の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設	原案可決
議案第97号	西海市犯罪被害者等支援条例の制定について	厚生	原案可決
請願第6号	平島地区における洋上風力発電計画についての請願	総務文教	不採択
発議第1号	議員定数等調査特別委員会設置に関する決議	本会議	原案可決

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会では、条例案4件、補正予算案1件、その他の議案1件、請願1件について審査を行いました。主な審査の内容は次のとおりです。

議案第78号 財産の購入について 原案可決

本議案は、大島地区工業団地整備事業の埋立てに必要な土砂を購入するものです。今回60万立米を購入する予定ですが、質疑応答において、事業に必要な土砂は、約180万立米であり、市内外の土木工事等において発生する無償の土砂を活用したうえで不足した部分に今回購入する土砂をあて、予定数量より少なく済んだ場合は、購入数量の変更を行う予定であるとの説明を受けました。

このほか、購入予定の土砂が採石の際に発生する表土であるとのことから、本来は処分すべき産業廃棄物であり、無償で提供を受けられないのかとの質疑がありました。これに対し、当該土砂は適正な管理が定められ、所定の場所において日常管理されているものであり、産業廃棄物ではなく、管理場所の確保や伴って発生する経費もあるため無償提供は考えにくい旨の答弁を受けました。

このような質疑応答を経て、委員

会として原案のとおり可決すべきと判断したものです。

議案第79号 西海市交通船使用条例の一部を改正する条例の制定について 原案可決

本議案は、国土交通省海事局長より一般社団法人日本旅客船協会会長あてに通知された「障害者に対する公共交通機関運賃割引等に関する協力」の趣旨にのっとり、交通船の障害運賃割引適用者の拡大について改正を行うもので、割引対象に精神障害者が追加されることや身体障害者及び知的障害者の1種、2種区分の撤廃などが主な改正点でした。

主な質疑の要旨は次のとおりです。
質疑 通知が1月下旬ごろに出されたのであれば、改正の時期が本定例会であるのはなぜか。

答弁 通知は日本旅客船協会の発行する業界紙に掲載されており、当該紙面が本市に届いたのが3月から4月頃であったことに加え、今回の改正に関連して改正すべき点もあったため、本定例会における議案提出となった。



市営船「New松島」

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会では、条例案3件、補正予算案4件、その他の議案1件について審査を行いました。主な審査の内容は次のとおりです。

議案第86号 西海市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について 原案可決

この議案は、昨年12月に取得した西海町丹納郷の旧親和銀行跡地にある旧社宅を改修し、条例に追加して市営住宅として管理するものです。

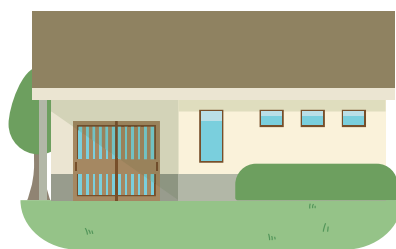
市営住宅の名称は新丹納団地A、所在地は西海市西海町丹納郷2088番地です。

家賃は月額4万4400円、駐車場使用料は月額3000円で、令和2年4月1日から入居可能とするものです。

質疑 公営住宅に入居していた共働きの若者世帯等が、当該住宅の入居資格である収入月額を超え、継続して居住することができなくなった際、市内に転居可能な住宅が不足していることにより市外へ転出せざるを得なくなるケースが多発しており、このことが西海市の人口減少にもつながっているため、今後も定住人口増加に着目し、単独住宅の整備等を積極的に行うべきではないか。

答弁 家賃の変動がない単独住宅

の整備については、今後も考えていきたい。



議案第87号 西海市下水道事業の設置等に関する条例の制定について 原案可決

この議案は、平成27年1月の総務大臣通知により、下水道事業に地方公営企業法の財務規定等を適用する必要があるため、その適用に必要な条例の制定を行うものです。

質疑 人口減少が進む中、下水道への接続率も含め、下水道事業についてどのような展望をもって対応していくのか。

答弁 各世帯を訪問し、状況を把握した上で下水道への接続のお願いをしていきたい。また、公営企業会計に移行するということで、経営努力を図っていききたいと考えている。

厚生常任委員会

厚生常任委員会では、条例案5件、補正予算案2件、その他の議案1件について審査を行いました。主な審査の内容は次のとおりです。

議案第84号 西海市西彼保健福祉センターの指定管理者の指定について

原案可決

この議案の審査の中では、施設の修繕費について質疑があり、5年間でかなりの修繕が出てくることが予想されることから、市の責任において施設を点検し、管理者とよく協議するようにとの意見が出されました。



西彼保健福祉センター

議案第97号 西海市犯罪被害者等支援条例の制定について

原案可決

この議案は犯罪被害者等の支援に関し、犯罪被害者等が受けた被害の



厚生常任委員会での審査の様子

早期回復及び軽減に向け、確実に継続的な支援や取組みを推進することにより、誰もが安心して暮らせる社会の実現を目指すため、新たに条例を制定するもので、県下では佐世保市、杵岐市、島原市に次ぐものです。見舞金の支給は、市町村のほとんどが遺族見舞金30万円、傷害見舞金10万円を支給しており、本市も同じ金額となります。この中で、社会通念上適切でないと思われる場合は、支援を行わないこととなりますが、警察が認めたケースのみ対象となります。また、原則的に、加害者と犯罪被害者等が親子関係や夫婦関係の親族関係の場合は対象となりません。なお、市内に住所を有する外国人も支援の対象となります。相談窓口は市民環境部市民課生活安全班となります。

予算決算常任委員会

予算決算常任委員会では、補正予算案1件について審査を行いました。主な審査の内容は次のとおりです。

議案第88号 西海市一般会計補正予算(第4号)

原案可決

〔補正額〕

補正前

236億5505万9千円

追加額

9億8995万4千円

補正後

246億4501万3千円

〔歳出〕

○アフリカ豚コレラ侵入防止緊急支援事業補助金

補正額

448万7千円

アフリカ豚コレラの子防及びまん延対策のための防護柵等の整備経費に対し、国の補助の上乗せとして、ワイヤメッシュ柵1メートル当たり2380円を上限に県・市において補助するもの。

質疑 農家には自己負担が生じるが、早急な着工は可能か。

答弁 ただちに対象となる方々へ詳しい事業の説明を行い、早期の実施に向けて進めていく。

○小規模事業者施設整備費補助金

補正額 147万7千円

小規模事業者が行う事業規模の拡大や業務の効率化等に資する設備投

資への補助について、申請者の増加により増額するもの。

質疑 補助金の算出方法は。

答弁 小規模事業者に限定したもので、100万円以上の改修や備品の購入費等について、2分の1となる50万円を上限として助成するもので、これまで4件の申請を受付ており、新たに3件が見込まれている。

○中学校体育大会出場補助金

補正額 258万9千円

市内学校等の児童生徒が行うスポーツ活動を支援するもので、中学校の体育大会において、上位大会への出場が増えていることから増額するもの。

質疑 出場校や競技種目は。

答弁 西海中学校の男子バレーボール部と女子の走り幅跳び、西彼中学校の女子のバドミントンがそれぞれ九州大会に出場しており、西海中学校の男子バレーボール部については、その後、全国大会にも出場している。





一般質問



いわもと とし お 議員
岩本 利雄

「働き方改革」を推進し業務の効率化を図れ

問 平成30年7月に「働き方を推進するための関係法律の整備に関する法律」が公布され、順次施行されている。長時間労働の是正、柔軟な働き方の実現、公正な待遇の確保等が法律の中にうたわれている。そこで、ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）を活用した業務が今後主流になると考えるが、それに対する市長の考えを伺う。

市長 ICTやAI等の技術革新は目覚ましく、近い将来、人間が現地に出行き行っていた作業が手元でできるようになり、また、端末入力など直接人間が行っていた作業がRPA、すなわち定型作業の代行や自動化に取って代わられるのではないかと考えている。

本市においても、平成30年8月から議会事務局で導入された音声認識ソフトは、録音した音声データから文字データへの変換率が高く、庁内の各種会議の議事録作成の際にも活

用されており、録音データを聞きながら手で入力していた導入前と比較すると、議事録作成時間を大幅に短縮し、職員の労力削減に大いに寄与している。

今後さらに、ICTやAIの活用が広がることで職員の業務が効率化され、また、時間短縮によって市民サービスも向上するものと期待している。効率化で生み出された時間を政策立案等の業務や研修に振り分けることで、職員のスキルアップにつながるほか、市民サービスの質も向上するものと期待している。

なお、ICTやAI等の先端技術の操作方法やリスク対策を習得し、それらを活用するのは職員であり、人材確保や研修を通じて職員の育成に努めていきたいと考えている。



音声認識ソフトを使用した業務の様子

その他の質問

● 水道事業の有収率について



ふち せ えい こ 議員
瀬 栄子

指定ごみ袋の品質を確保せよ

問 「もえるごみ袋」が破れやすいと市民からの指摘がある。品質の検査や不良品があった場合の対応は、どうなっているのか。

市長 検査員が納品直後に抽出し、袋のサイズや厚みを測定している。製造段階において不良品があった場合は、製造業者との契約などにより速やかに全量良品と交換することになっている。

部長 開いたときに破れるなど数件把握している。もう少し調査し、結果に基づき対応したい。

農業・漁業・林業の課題について

問 「西海市新規就農支援事業」の周知と「西海市青年農業者」への支援について伺う。

市長 認定農業者や農協の部会などで周知しているが、今後はSNSを活用し積極的に周知に努めたい。会員ごとに生産品目は異なるが、今後とも活性化が図られるよう支援する。

問 漁協の製氷貯氷施設もフロンの排出抑制法の一部改正により整備が必要となるが、市の対応を伺う。

市長 市内漁協の主要な14基の施設うち、代替フ

ロンに対応済は6基。「浜の活力再生プラン」等に沿った国庫補助事業が活用できるので、計画的な更新が図られるように、適切に指導助言する。

問 ヒノキの蓄積が50年を超え、主伐など森林組合との連携した林業振興策はどのようにするのか。

市長 本年度から地域林政アドバイザーを雇用した。主伐・間伐の計画的な実施と新たな販路開拓も見据えた取り組みを行っていく。



市内で実施されている林業整備



市内漁協の製氷機

その他の質問

● 本庁舎の活用とあり方について
● 西海市における再生可能エネルギー事業について



たがわまさき 議員
田川 正毅

伝統文化・芸能活動の推進を!

問 西海市内各地の伝統芸能が少子高齢化により、存続の危機に直面している。過去の映像・写真の復元や現在の祭りを記録する考えはないか伺う。

教育長 郷土芸能や伝統行事は、郷土愛を育む上で大切なものである。市内の映像記録の収集や新たなデジタル記録を行い、伝統芸能の維持に努めたい。

また、『西海市の文化財』という冊子の発行を計画している。

市長 西海市自体が情報を収集し、保存に向けて一生懸命取り組む。

問 伝統芸能の維持に要する財源確保のために『ふるさと納税』の対象事業とする考えはないか。

市長 『ふるさと納税』の制度の考え方には合致するので、総務省へ確認等を行ったうえで検討する。

教育長 衣装や諸道具の整備のために、国・県の助成事業の活用や自治振興センターの一般コミュニティ

助成事業を活用する。

松島架橋早期実現へ向けて

問 松島架橋早期建設に対するこれまでの活動と、今後の方針を伺う。

市長 昭和58年から61年まで毎年、地元国会議員に要望活動を行った。平成元年から幾度か国・県知事・県議会に要望。西海市発足後は毎年国・県への要望活動を行ってきた。国・県の対応は①『島民の安心・安全』と地域経済の発展に貢献する。②整備効果と比較して事業費が大きく早期実現は困難と考える。③松島の振興策などの事業効果を高める手段を検討し、社会情勢の変化を注視し、地元や西海市と議論すべき長期的な課題と捉えている。

問 地元国会議員・県議会議員が国・県の要職に就任されている状況を千載一遇の機会と捉え、全力で取り組む考えはないか伺う。

市長 現状については、松島の方々に申し訳なく思う。長崎県選出の国会議員に覚悟をもつて要望していく。



大瀬戸町松島



しみずまさあき 議員
清水 正明

市道木場川線の西海町太田原郷における道路災害の対応及び建設技術者の確保について

問 8月末の大雨で被災し、車両通行止めとなつて約3カ月が経過したが、未だに復旧工事がなされていない。地元住民の利便性を考えると、応急工事が応急仮工事で早急に対応すべきでなかったのか。

市長 当被災箇所は、国庫負担対象の条件になっている交通上特に重要な道路に該当しないため、応急仮工事による仮道の施工は行っていない。また、応急本工事を災害査定前に実施すれば、査定の際に写真のみでの受検となることで被災状況などの現地の詳細な説明が困難となり、復旧延長がカットされる可能性があった。そのため、今回は災害査定を受けた後に予算確保を行った上で復旧工事を行う計画とした。

問 災害復旧工事等の対応の遅れは、建設技術者の不足が一因ではないかと指摘してきた。市としてどのような対応をしているのか。

市長 災害査定を受け、承認を受けた後に施工する計画なので、対応が遅れたとは考えていない。



復旧が待たれる市道木場川線

会計年度任用職員制度について

問 来年度から実施されるが、次のことを伺う。

- ① 職員の選考の方法。
- ② 月例給、一時金の考え方。
- ③ 通勤手当等の支給の有無。
- ④ 有給休暇等の有無。

市長 ①面接や書類による選考を予定している。

②行政職給料表を適用し、職務内容や職責等で決定。一時金は、期末手当を支給。

③市の非常勤職員制度における各種手当を支給。

④同制度における有給休暇や特別休暇を付与。



一般質問



うちのしげき 内野 繁樹 議員

医療に特化した交通網の整備について

問 多くの市民は、通院を目的として公共交通機関を利用している。このことを踏まえ、市外を含む広域的な利用が出来るよう、通院に特化した交通網を早急に整備すべきと考えるが、市長の考えを伺う。

市長 今年4月から運行を開始した「さいかいスマイルワゴン」は、医療機関への利用が一番多い。しかしながら、スマイルワゴンエリア内限定での運行のため、隣接するエリアや市外の医療機関への運行を望む声が多く、この解決策として、各エリアの境界付近に継ぎ場所を設置することや佐世保市への接続として、西海橋東口までの乗入れを検討している。

崎戸さん元気らんの活用について

問 崎戸さん元気らんどは、指定管理によって管理運営を行っているが、施設の中身についてはもっと積極的な仕掛けをし、西海市崎戸

さんさん元気らんどの設置及び管理に関する条例の設置目的に沿うような活用を求めていくべきと考えるが、市長の考えを伺う。

市長 ここ2、3年の利用者数は低迷しており、もっと活用を図る必要があるものと考えている。指定管理事業者とも協議しながら、今後はクロスカントリーやグランドゴルフ大会のほか、広い空間を有する同施設の特徴を活かしたイベントの実施を各種団体に対して働きかけていくとともに、分かりやすい料金体系とするなど、利用しやすい環境を整え、崎戸地区の交流人口の拡大に向けて取り組んでいく。



崎戸さんさん元気らんど

その他の質問

- 崎戸温水プールの再開について
- 水道施設維持管理業者委託について



ひらみつひろ 平井 満洋 議員

旧長崎オランダ村について

問 施設の一部である風車を回すには、どれぐらいの費用を要するのか伺う。

市長 風車を回すために必要な改修工事費を見積もるためには、足場を設置しての現況調査が必要とのこと、その費用についても概算見積を依頼したところ、風車の羽根や駆動部の調査費用に約530万円、風車塔の外壁部を含めた調査費用に約500万円、合わせて1000万円以上の費用がかかるとのことであった。実際に風車を回すためには、まず当該現況調査の経費に加え、調査の結果、判明する改修工事費が必要となる。しかしながら、風車塔は、自然災害等によって損壊する恐れもあることから、当面、現況調査については、議会とも相談しながら実施することとした。



止まったままの風車

職員給与について

問 西海市民の目線で見るとき、年収500万円を超える職員給与については、真摯に見直しを検討すべきと考えるが、市長の考えを伺う。

市長 人件費は、いわゆる義務的経費であり、職員を雇用する限りは、雇用者として法令に基づく適正な支給額を確保する責任がある。したがって、これを恣意的に増減することは制度上できないものであり、仮に、市の財政的都合によって削減等が必要になった場合には、上位法である地方公務員法や労働基準法などの諸法令に反しない範囲で条例を改正する必要がある。その上で、現行の職員給与の水準について市民の皆様に理解していただくためには、職員が給与に見合った仕事をする中で、さらに質の高い住民サービスの提供につなげていく必要があると考えている。

市民ファーストとはなにか。

市長 こちらの基準だけでなく、市民の立場に立った状況を考え、政策にもう一回反映することだと思ふ。

その他の質問

- 防犯カメラ設置による地域問題の解決について
- イノシシ対策について
- 西海市入札参加資格審査について



戸浦 善彦 議員

人口減少の西海市が未来へつなげるための職員像及び教職員像について

問 市民が求める西海市の職員像とは。

市長 ①広い視野と柔軟性を持ち、積極的に行政課題に挑戦する職員

②社会情勢を的確に捉え、長期的視野に立ち、今後の西海市を創造する職員

③市民感覚、市民の視点で要望を捉え、市民と協働する職員

④コスト意識を持ち、適正な改善、改革に取り組む行政、経営感覚を持つ職員

⑤公務員としての倫理観を持ち、自ら研鑽に努め、市民の信頼と期待に応える職員

問 市民が求める西海市の教職員像とは。

教育長 子ども達のために、「ふるさと教育」にしっかりと取り組ませるといふ視点を大事に考え、「ふるさと教育」を通して未来の西海市を愛し、生涯にわたって支え続ける人材を育成するためには、教える教職員自身が地域の一人としての自覚を持

ち、地域を知り、地域を思い、その思いを子ども達に伝える事が第一歩。今後の西海市の教職員が子ども達への深い愛情と地域への熱い思いを持ち、強い使命感と共に識見と指導力を備えた、市民から信頼される存在となるよう指導に努める。

問 学校給食共同調理場の課題と今後の見通しについて。

教育長 西海市立学校給食共同調理場適正化基本計画策定委員会が新共同調理場を整備する必要がある旨の答申を受け、新共同調理場の具体的な整備計画策定に努める。

問 財源確保については。

財務課長 防災食育センター等の可能性というの也十分にあるということ、防衛関係の財源について調査研究中である。



西海学校給食共同調理場 (西海町)

その他の質問

●市民サービスに係る公共施設等(道路・港湾を含む)の管理の状況と今後の対策について

●フロン類の使用の合理化及び管理の状況と今後の対策について

農業振興について

問 大規模農地基盤整備事業での地権者の対応及び担い手確保の現状と課題について伺う。

市長 市内の農地基盤事業は、完成した丸田地区、着工中の白崎・小迎地区、事業採択された面高地区、現在計画中の下岳・太田和・天久保地区の7地区である。地権者への対応は、基本的に農地中間管理機構を通じた貸借で、地域集積協力金等の活用で可能な限り地権者の金銭的負担の軽減に努めている。また、事業を推進する上で担い手を確保すること

は重要な課題である。地域内外への農業者に呼びかけ、担い手確保に努めている。

問 農地集積の実績と問題点について伺う。

市長 平成26年度から平成30年度ま



中里 さとる 議員



白崎地区農業基盤整備事業

で245ヘクタールの農地が機構を通じて貸借され、今年度も70ヘクタールを目標に推進している。今後は、条件の良くない農地をいかに流動化させるか、課題解決に向け、取り組んでいきたい。

問 新規就農支援事業の実績は。

市長 平成29年度2件、平成30年度3件、今年度は5件の実績である。今後は、親元新規就農者への支援策の構築と農業生産法人等と連携し、さらなる制度の充実を図りたい。

問 新種作物のオリーブ、アボカド栽培の現状と課題は。

市長 オリーブは既に生産販売が始まっている。現在、西海クリエイティブカンパニーとラベル作成などで協議中である。また、関東を拠点とするスーパーへの販売方法等を協議検討中である。アボカドについては、栽培技術の確立など、今後解決すべき課題もあり、結果が出るまでは、ある程度の期間を要するものと考えている。

防犯カメラの設置について

問 今後の増設計画は。

市長 現在、市が維持管理しているものは9台、民間設置80台と把握している。今後、市内小中学校など

公共施設に計画的に設置する。また、民間の幼保育園にも設置費用の補助で設置促進を働きかけたい。市公用車の全てにドライブレコーダーを取り付けたい。



一般質問



すぎやま せいじ 議員
杉山 誠治

道路整備について

問 大島町の真砂交差点及び西彼町の小迎交差点は、現在、朝夕の交通量が多く、スムーズに流れない状況である。大島工業団地の完成後、さらなる交通量の増加が予測されるが、渋滞緩和に向けてどのような道路整備・交通政策を考えているのか伺う。

市長 大島町の真砂交差点及び西彼町の小迎交差点については、朝夕に一時的な渋滞が発生することは認識している。今後、大島工業団地の完成も見据え、両交差点を管理する長崎県並びに長崎県公安委員会に対し、渋滞緩和の要望を行っていく。

地域力を高める行政推進について

問 地区が広範囲に分散する本市にとって、それぞれの地域力を高めることが本市全体の力を高めることにつながると思うが、人材不足に悩む小規模な地域の再編、人材育成等、将来に向けてどのように取り組む考えか伺う。



肥前大島港ターミナル入り口前の真砂交差点（大島町）

市長 世帯数の減少等から自治会組織再編の動きがみられるが、これまで培われてきた地域ごとの伝統文化等をどう継承していくのか、統合に際して範囲が広域になりすぎると地域間の意思疎通が図られなくなるなど、コミュニケーションとして機能しにくくなる懸念が、今年度、新規事業として地域運営組織研究事業を実施している。これまで地域課題の解決等は、各自治会組織や各種団体がそれぞれ市に要望し、それに市が対応するという形態で行ってきた。地域運営組織は、地域の課題を地域住民自らが主体的に把握し、自ら解決していく形態となり、そこに市が協働・連携していく形になる。財源的な問題や自治会同士、また、各種団体との統合など課題もある。行政区関係者で視察研修や勉強会を開くなど調査研究に取り組んでいる。

CSF（豚コレラ）等の発生防止対策強化について



なか おきよし 議員
中尾 清敏

問 2018年に岐阜県で発生した豚コレラは、一府八県で確認され、依然として養豚場での発生や野生イノシシへの感染拡大が続いており、養豚農家は危機感を抱いている。CSFが発生した場合は、地域経済に甚大な被害をもたらすことから、本市における主要家畜の伝染性疾患の発生予防措置を講じることが重要であるが、侵入防止策を伺う。

市長 伝染性疾患予防策としては、畜種ごとのそれぞれの団体において、ワクチン接種により家畜の伝染病予防に取り組んでいる。家畜保健衛生所は畜産農家に対し、畜舎入口への消石灰の散布など、病原体の侵入防止対策として衛生管理基準の遵守を徹底していただいている。

問 食品残渣を介した病原体の野生イノシシへの伝染を防止するため、不特定多数の人が出入りする公園、キャンプ場、道路沿い、ごみ置き場などにおける管理対策を伺う。



捕獲されたイノシシ

市長 環境省から、公園等において肉製品等のごみの放置禁止、持ち帰りの促進など、管理について注意喚起があつており、市として広報誌等で周知している。

市民環境部長 市は不法投棄収集運搬業務として、委託業者を各町に配置して、週一回、幹線道路をパトロールし、散乱しているごみは回収していく。

問 CSF拡大防止対策として、防護柵の設置費用に対する支援の考えはないか伺う。

市長 市として支援が必要との認識に立ち、県と同額の費用助成を行う。市内で発生すれば、養豚生産額47億円は西海市の産業として大損失になるので、危機意識を持って取り組む。



一般質問



たさき こうた 議員
田崎 耕太

庁舎問題について

問 大島総合支所建替え事業について、これまで、数度にわたり全員協議会において協議・調整を図ってきた。その過程で市側は、当初の計画を修正する場面があったが、安易な妥協案の提示は、市長の政治姿勢を疑われないか。市長たるもの、剛毅果敢であるべきではないか。

市長 今回の修正案については、議会の意見を踏まえ、計画面積のうち、書庫については他施設の活用を、備蓄倉庫については別棟プレハブで対応すること。加えて、ホールスペースの見直しによって必要な面積を精査し、事業費の削減を図ったものであるが、総合支所の事務所機能や防災機能、市民が活用できる多目的室など、大島地区の拠点として最低限の機能は有しており、安易な変更案を提示したわけではない。

問 大島・崎戸地区の防災や住民の生命・身体の安全の観点から、大島総合支所の担うべき機能を如何に捉えているのか、見解を伺う。



大島総合支所

市長 特に大島・崎戸地区においては、台風、地震等の災害により、大島大橋が通行止めとなり、孤立することを想定した対策が必要であり、災害対策が長期化した場合においても、多目的に機能が果たせる会議室や駐車スペースを有しているかなどを考慮する必要がある。

問 現本庁舎は、防災や住民の生命・身体の安全の側面はもとより、本市の核としても、その機能は脆弱である。したがって、総合的な視点に立脚して、今後、庁舎建設問題に取り組み覚悟はないか。

市長 令和2年度に、次期総合計画の策定にあわせて本庁舎建設に関する市民アンケート調査を実施し、庁舎建設機運の状況を見定めた上で、検討して進めていきたい。

市議会からのお知らせ

西海市のホームページから、西海市議会に関する各種情報を公開しています。定例会の日程や結果、会議録検索など最新の情報をご覧ください。

● 議会中継をインターネットにより動画配信しています。

西海市議会ではインターネットによる本会議の動画配信（ライブ及び録画）をしています。

市のホームページから、または、<https://saikai-city.stream.jfit.co.jp/>へアクセスしていただくと、一般質問などの映像をご覧ください。

ライブ配信は議会開催中に、録画配信は会議終了後1週間程度でご覧いただけます。

● 議会会議録をインターネットで公表しています。

西海市議会ではインターネットで本会議の会議録を公表しています。

市のホームページから、または、<http://ssp.kaigiroku.net/tenant/saikai/SpTop.html>へアクセスしていただくと、平成17年以降に開催された定例市議会・臨時市議会の会議録を、キーワード、発言者、会議日程などにより検索して、閲覧することができます。

● 西海市議会の本会議を傍聴できます。

西海市議会の本会議は公開されており、どなたでも自由に傍聴できます。

1：場所 本会議場（西海市役所本庁舎3階） 2：人数 60人まで 3：受付場所：本会議場前傍聴受付

- ・受付の際、所定の用紙に住所、氏名等を記載していただきます。
- ・会議開始前から受付を開始し、会議中も随時受け付けます。



厚生常任委員会 所管事務調査報告

調査事件

- (1) 国民健康保険事業及び後期高齢者医療事業の運営状況について
- (2) 直営診療施設の現状と課題について
- (3) 介護保険事業の運営状況について

調査日程及び対象

令和元年8月2日（金）
委員会室及び松島診療所
令和元年8月19日（月）
平島診療所・江島診療所

概要

(1) 国民健康保険事業及び後期高齢者医療事業の運営状況について

① 国民健康保険事業

国民健康保険事業は、平成30年度から長崎県が財政責任主体となり運営している。国民健康保険税率については、各市町が決定しているが、西海市においては、平等割、均等割、所得割及び資産税制で算定していた国保税を、資産割税を廃止し3方式にした。県下での国保税率の統一は、今後の課題となる。

収納率は、県下でも高いほうであり徴収努力がみられるが、滞納繰越額が増えることにより不納決算額も増える恐れがあることもあり、さらなる徴収努力が望まれる。

一人当たりの診療費は、年々増加傾向にある。薬価改正などやむを得ない事情もあるが、保健指導の実施及び特定検診受診率の向上の取組みに加えジェネリック医薬品の普及などでの診療費削減への取組みが課題となる。

② 後期高齢者医療事業

後期高齢者医療事業は、県下21市町での広域連合で運営し保険料も統一されている。各市町で医療機関の数などで一人当たりの診療費に多寡があり、保険料が統一されていることの不公平感はあるものの、皆で支え合う制度として確立されている。

(2) 直営診療施設の現状と課題について

① 松島診療所

施設全体が老朽化しており、事務室床が波打ち一部雨漏りも発生している。早急な改修が必要である。また、医師住宅も外観において老朽化が目につくが、離島医師を招聘するにあたって居住環境は重要な条件となる。建替えも含め検討を望む。

② 平島診療所

施設が老朽化しており具体的な建替え計画に取り掛かる時期に来ている。診療所で見ることができない患者は、他の病院へ送ることになるが診療所医師任せとなっている。行政として体制の構築を図る必要がある。



③ 江島診療所

施設が老朽化しており、具体的な建替え計画に取り掛かる時期に来ている。島民の病状など島の現状について、市長と診療所医師との共通認識が不足している。医師が離島に継続して滞在してもらうには、行政との信頼関係は不可欠であるため、何らかの形で意見交換の場を設けるべきと考える。



(3) 介護保険事業の運営状況について

介護認定者数は減少したが、介護老人福祉施設利用者が増加したため、平成30年度の介護給付費は前年度と比較して増加しており、介護老人福祉施設利用者は今後も増加傾向が続くと予想されている。介護が必要な方については介護保険を有効に活用してもらいながら、行政としては市民の健康寿命を延伸し、介護給付費削減のための介護予防事業及び生活支援事業などを実施している。その事業を効率的に展開するためには、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が必要である。西海市においては、「医療」について中心的役割を果たす医療機関がなく、地域包括ケアシステムの構築への阻害要因となっている。

第6回「市民と議会のつどい」を開催しました

西海市議会では、市民の皆さまと意見交換を行い、よりよいまちづくりに活かすため「市民と議会のつどい」を開催しています。

第6回となる今回は、2班が認定農業者連絡協議会役員会と青年農業者の会の皆さまと、10月23日に西彼農村環境改善センターにおいて、「西海市の農業の現状と課題について」をテーマに意見交換を行いました。

1班が長崎県立西彼農業高等学校の皆さまと、12月19日に西彼農業高等学校において、「西海市の在り方について、(1)人口減少対策について考えること(2)西海市を元気にする方法

について考えること」をテーマに意見交換を行いました。貴重なご意見ありがとうございました。



長崎県立
西彼農業高校との
意見交換風景
(1班)



農業者連絡協議会
役員会及び
青年農業者の会との
意見交換風景
(2班)



委員長	委員	委員	委員	委員	委員	副班長	班長
清水 正明	田崎 耕太	中里 悟	戸浦 善彦	朝長 隆洋	永田 良一	岩本 利雄	湊瀬 栄子

市民と議会のつどい
2班 名簿(8名)

委員長	委員	委員	委員	委員	委員	委員	副班長	班長
小嶋 俊樹	中尾 清敏	平井 満洋	田川 正毅	浅田 直幸	佐嘉田 敏雄	宮本 一昭	内野 繁樹	杉山 誠治

市民と議会のつどい
1班 名簿(9名)

西海市の情報をテレビ画面上で確認できます！

地上デジタルテレビのチャンネルをNBC長崎放送に合わせてリモコンの④ボタンを押すと、いつでも手軽に西海市が発信する情報を見ることが出来ます。テレビの地デジ化が完了し、長崎県内で地デジの電波が受信可能な場所であれば、無料で閲覧が可能です。（実施している他自治体の情報も閲覧可能）配信時のアクセス

ス集中による通信障害の心配ありません。7項目に分けてくらしに役立つ情報を発信していますが、**議会定例会前には議会の日程や市政一般質問の登壇順、質問項目なども発信しております。**
ぜひご利用ください。



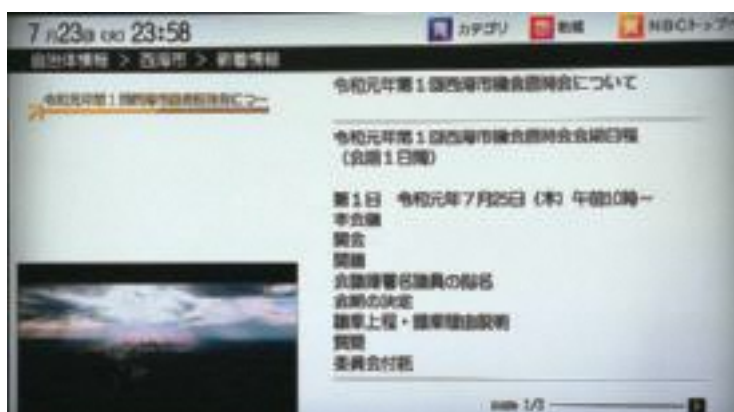
①チャンネルをNBC長崎放送に合わせてリモコンの④ボタンを押す



②「自治体情報」を選択し、リモコンの緑のボタン「地域選択」を押した後「西海市」を選択



③7項目から1項目選択



④確認したい内容を選択すると右側に詳細が表示される



崎戸町江島在住

福田 智美

西海市の離島江島は、崎戸港から船で約1時間、五島灘の中間に位置する小さな島です。島民はそのほとんどが高齢者であり、人口統計では130人となっていますが、実際には100人足らずとなっており深刻な過疎化問題を抱えています。このことは西海市全体に言えることですが、島の過疎化は一刻を争う事態となっています。

江島の魅力は、その美しい海や山、新鮮な魚介類、伝統や文化、それらは島ならではのものです。また周囲を海で囲まれ



碁石ヶ浜
(崎戸町江島)



た景色は素晴らしく、訪れた人々に感動と癒やしを与えてくれます。しかし、残念ながら同じ西海市にあって、西海市民には江島の魅力はあまり伝わっていないのではないだろうか。実際に江島に渡ったことのある西海市民は数少ないのではないかと思います。

の急増だけでなく移住者も増えてきているといえます。しかしながら西海市は、3つの離島を持つにもかかわらず、その離島ブームにも遅れをとっているように思います。だからといって、島に活気をもたらすために単に観光客をたくさん呼ぶことが大切だということではなく、何より島に雇用の受け皿を作ることが不可欠だと思います。

島にITを含めた様々な産業を発展させることにより、一度島

から出てしまった人が島に戻ってきたり、島の空気感に興味を持った人が、島で自分の仕事が出来ると移住してみよう、という人がでてくるかもしれません。江島に新しい離島ブームを起こすためには、島の結束はもちろん、西海市、長崎県全体で繋がりを作る必要があるのではないのでしょうか。また島同士で何かを取り組むといった機会が増えることも期待し、議会でも活発に離島問題の討議を望みます。

郵便はがき

857-2392

郵送される
場合は63円
切手を貼って
下さい。

長崎県西海市大瀬戸町瀬戸桧浦郷2222番地

西海市役所 議会事務局
「議会広報広聴委員会」行

(議会だより第57号)



裏表紙に
西海市議会クイズが
あるよ！議会だよりを
よく読んで解答してね！

第13回 西海市議会 クイズ

ヒント

答えは全て本誌の中にあります。誌面をよく読んでお答えください。

(1) 令和元年第4回議会定例会で審議された報告案件を含む議案の件数は？

① 14件 ② 24件 ③ 34件

(2) 令和元年第4回議会定例会で決定された閉会中の継続調査の中で「ごみ処理について」を調査する常任委員会？

① 総務文教常任委員会
② 産業建設常任委員会
③ 厚生常任委員会

(3) 第6回「市民と議会のつどい」で1班が訪問した県立高等学校は？

① 西彼農業高等学校
② 西彼杵高等学校
③ 大崎高等学校

(4) 新たに設置された「議員定数等調査特別委員会」の委員定数は？

① 7名 ② 10名 ③ 17名

応募方法

下のがきを切り取り、各問題の回答欄に答えの番号を記入し、郵便でお送りいただくか、お近くの総合支所又は市役所本庁議会事務局へご提出ください。

締切

令和2年3月6日
(金) 消印有効(6日支所提出分まで有効)

特典

全問正解者の中から抽選で3名の方に、QUOカード(1000円分)をプレゼントいたします。なお、当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

※今回より落選通知は送付しませんので、ご了承ください。

「個人情報」の取り扱いについて

ご記入いただきました個人情報、賞品発送などの目的以外には利用いたしません。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。
令和時代となり、平和な年でありますようお願いいたしますが、日本列島は台風が何度なく上陸し、甚大なる被害がありました。被害に遭われてお亡くなりになられた方々のご冥福を祈り、被害に遭われた多くの方々の一刻も早い復興を願っています。
さて、令和元年12月第4回議会定例会が15日間開かれ、11名が質問に立て、市民の願い、思いについて様々な角度から各議員が熱弁を奮いましたが、傍聴者が少なかったのは残念に思います。
令和2年3月議会には多くの方に傍聴していただくことをお願いし、市民の負担に応えたいと思います。議会だよりをもっと見やすくわかりやすくして、より多くの方に愛読いただけるように頑張ります。市民の皆様にとりまして、令和2年が災害のない穏やかな一年でありますようお願いいたします。
(永田良一委員)



議会広報広聴委員会

第13回西海市議会クイズ回答

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

ふりがな

氏名

住所

年齢 歳

議会だよりについての感想またはご意見



議会
だより

No.57
令和2年
2月5日発行

発行責任者 ◎西海市議会議長
編集 ◎議会広報広聴委員会

〒857-2392 長崎県西海市大瀬戸町瀬戸榎浦郷2222
TEL.0959-37-0075



この「西海市議会だより」は環境に配慮し再生紙と、揮発性有機化合物(VOC)の発生を低減できる植物油インキを使用しています。